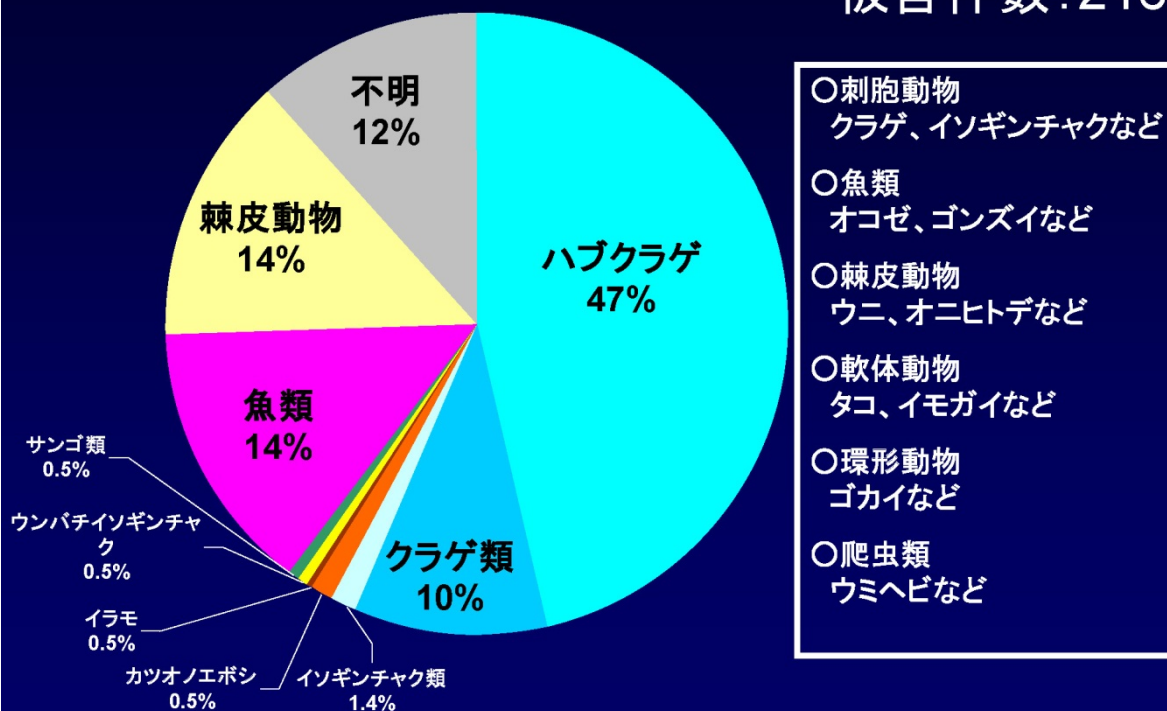


八重山地域別海洋危険生物による被害発生状況(1998~2012)

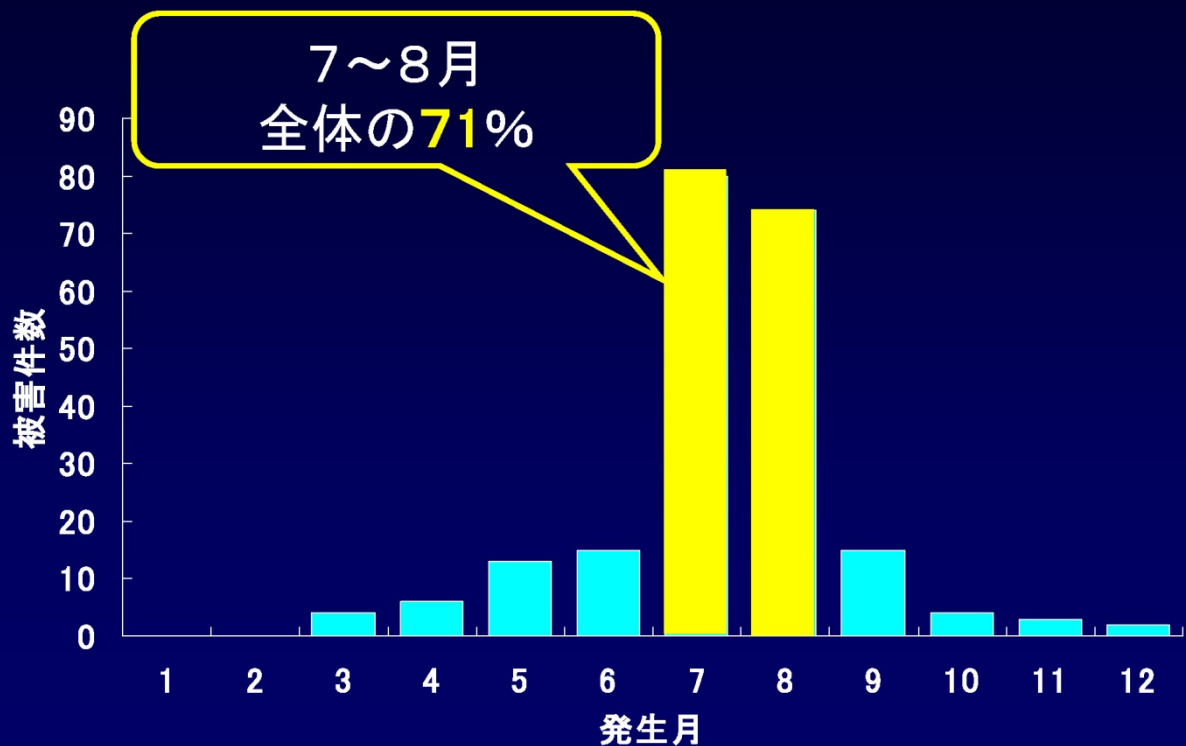
生物名	石垣市	竹富町	与那国町	不明	総計
ハブクラゲ	288	70		5	363
カツオノエボシ	13	17			30
クラゲ類	75	11		1	87
サンゴ類	6	6	1	2	15
イソギンチャク類	3	3		1	7
ガヤ類	1				1
小計	386	107	1	9	503
オニヒトデ	38	3			41
ガンガゼ	8	2			10
ウニ類	2				2
小計	48	5			53
オコゼ類	12	2	1		15
カサゴ類	7			1	8
ウツボ類	4	2	1		7
ゴンズイ	3	1			4
ダツ類	3				3
不明	7	2	1		10
小計	36	7	3	1	47
ウミヘビ類	2				2
小計	2				2
タコ類	1				1
小計	1				1
ウミケムシ		1			1
不明	1	1			2
小計	1	2			3
不明	85	13		2	100
合計	559	134	4	12	709

加害生物種別被害発生状況-H23-

被害件数:216



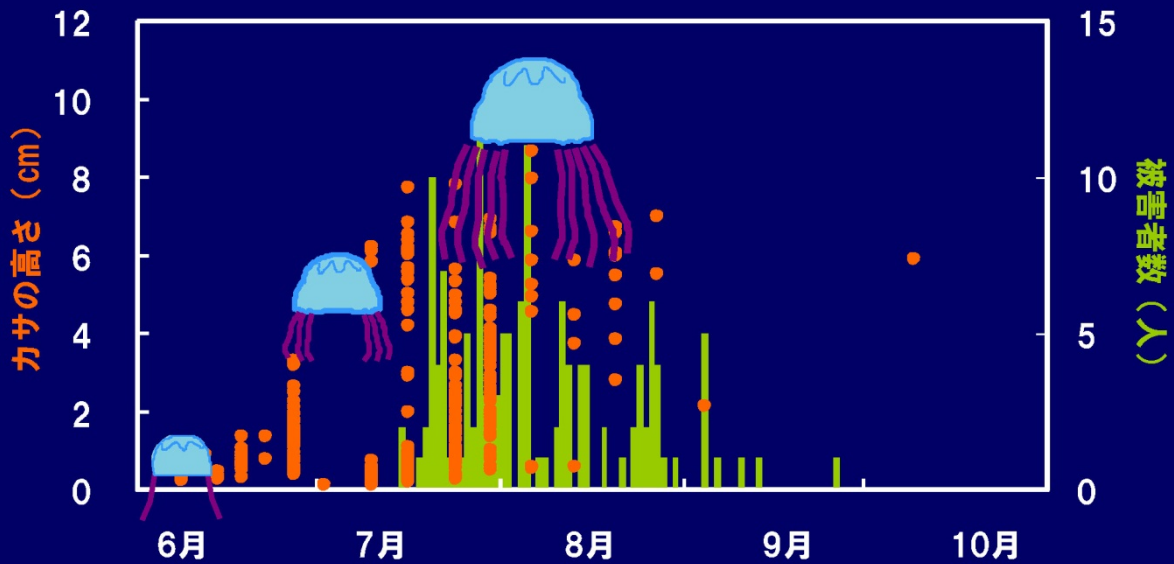
月別海洋危険生物被害発生状況 - H23-



海洋危険生物

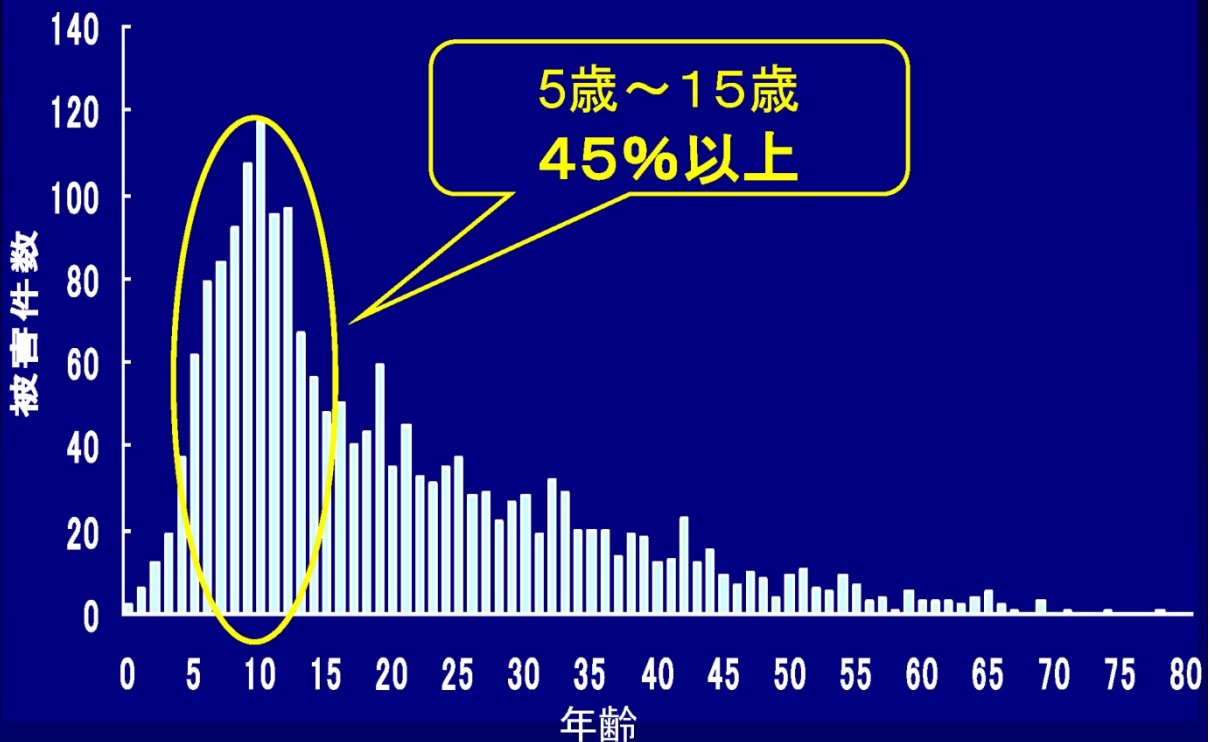
- 刺胞動物: クラゲ, イソギンチャクなど
- 棘皮動物: ウニ, ヒトデなど
- 軟体動物: 貝, タコなど
- 環形動物: ウミケムシなど
- 脊椎動物: 魚類, 爬虫類など

ハブクラゲの出現と被害



誰が？

1998~2011年



ハブクラゲによる重症・死亡事例の特徴

	年齢	受傷部位	付着触手の除去法	心肺停止	心肺蘇生*	転帰
A	2	臀部、両下肢	引きはがす	+	○	生
B	8	両下肢	酢をかけ除去 (酢をかける前に呼吸停止)	+	○	生
C	10	左大腿	引きはがす	+	○	生
D	8	腹部、両下肢	引きはがす	+	○	生
E	8	両下肢、体幹	砂でこすり落とす	呼吸有		生
F	5	右前腕、左上肢、両下肢	引きはがす	+	○	生
G	14	下腹部～両下肢	不明	+	×	死
H	6	左大腿、左手	砂でこすり落とす	+	△	死
I	3	両下肢	引きはがす	+	△	死

(参考: 県立中部病院資料)

- * ○: 心肺蘇生後、自発呼吸回復
- △: 心肺蘇生後、自発呼吸回復無
- ×: 心肺蘇生無し

酢の効果

刺胞の発射を抑える



被害が広がらない

~~毒を中和する~~
~~痛みを取る~~

~~アルコール~~
~~被害が広がる~~

応急処置（ハブクラゲ以外の刺胞動物）

- ①すぐに海からあがる
- ②海水で刺胞球や触手を洗い流す
（酢は使わない）
- ③冷やす
- ④病院へ



* ウンバチイソギンチャクによる刺傷は重症化しやすいため病院へ。

酢を使ってはいけない!!

- 酢によって刺胞が発射してしまう
（ウンバチイソギンチャク）
- 酢の効果がよくわかっていない
（カツオノエボシ）
- 症状を悪化させる恐れがある

事故の概要

- 発生日: 2012年4月24日 AM10:10頃
- 発生場所: 宮古島市伊良部島白鳥崎沖合い 水深18 m程度
- 被害者: 県内在住40代女性(ダイビングインストラクター)
- 被害時の状況: 客とダイビング中にオニヒトデを発見
⇒ 駆除しようと素手で石を持って叩いた際に右手中指を刺傷
- 経過: 4月25日AM8:30頃 死亡確認
- 死因: オニヒトデ毒により引き起こされた「アナフィラキシー・ショック」に起因する低酸素脳症
- 備考: 被害者は以前にもオニヒトデに刺された経験あり



アナフィラキシーとは

- 短時間で発症する全身性アレルギー※反応で、重症(アナフィラキシー・ショック)の場合は死亡する場合も

※アレルギー: 免疫反応が生体に何らかの悪影響を及ぼす状態



マイラン製薬株式会社HPより引用

- 1度体内に入ったことのあるアレルゲン(毒・薬・食品などの特定の原因物質)が、2度目以降※に体内に入ると発症の恐れあり

※体質(重篤なアレルギーなど)によっては、1回目でも発症の恐れあり

海洋危険生物の刺症による アナフィラキシー※の報告例

○クラゲ



カツオノエボシ

以前に刺傷された生物には注意!!

○アナサンゴモドキの仲間



アナサンゴモドキ
の仲間

※アナフィラキシー様の症状の報告も含む

海洋危険生物全般に発症の可能性あり

もしも以前に被害にあった生物に刺傷したら

(症状がでていなくても、)アナフィラキシー発症の可能性があるので、すぐに海からあがり経過観察。

※発症までに時間がかかる場合がある

代表的な症状

- ・呼吸困難
- ・めまい、失神
- ・じんま疹
- ・紅潮
- ・吐き気
- ・腹痛
- ・動悸
- ・下痢 など

発症しない場合

- ・通常の応急処置
- ・病院での治療

発症した場合

すぐに救急車を呼び、病院へ。
呼吸停止などの全身症状が見られたら心肺蘇生。

被害を防止・軽減するために

- 知識
- 予防
- 処置